変額保険
グローバルミックス

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

redefining / standards

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

月次運用レポート

2012年1月

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

INVESTMENT MANAGERS

redefining / investment solutions

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エクスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

特別勘定の運用方針について

基本資産配分比率	運用方針	利用する投資信託	
		投資信託名	委託会社
株式　50%	日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。 (特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社　特別勘定運用部が行います。)	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド (A) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
		アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド (B) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド (A) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド (A) (適格機関投資家私募)	
債券　50%		アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド (B) (適格機関投資家私募)	

※　特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

※　特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

変額保険
特別勘定の月次運用レポート　（2012年1月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 ［ 2012年1月 ］

【日本株式市場】

日本株式市場は、上昇し、TOPIX（東証株価指数）は前月末比＋3．66%の755．27ポイントで終了しました。
米格付会社S＆Pによるユーロ圏9ヵ国の国債格下げを受けて欧州債務問題に対する懸念が強まったことなどから、中旬までは揉み合う展開となりました。その後は、堅調な経済指標などを背景に米国株式市場が上昇したことや、IMF（国際通貨基金）の資本基盤増強報道などから欧州債務不安が和らいだことなどを受け、上昇しました。しかし下旬は、FRB（米連邦準備制度理事会）が超低金利政策を据え置く方針を表明したことなどから円高が進行し、日本経済の下振れ懸念などから下落に転じました。
業種別（東証33業種）では、株式市場の上昇を受けて「証券・商品先物取引業」（前月末比＋15．70%）が最も上昇した一方、競争激化が懸念される「情報・通信業」（同▲3．20%）が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、中旬までは揉み合いで推移しましたが、IMFの資本基盤増強報道を受けて欧州債務問題への懸念が和らいだことに加え、米企業業績の改善や雇用関連などの経済指標が予想を上回ったこと、FRBが超低金利政策を2014年終盤までは据え置く方針を表明したことなどから上昇しました。月末にかけては、ギリシャ債務削減協議が難航したことなどから上値の重い展開となりましたが、NYダウは前月末比＋3．40%の12，632．91ドルで終了しました。
欧州株式市場は、月の前半は堅調な経済指標による米国の景気回復期待やユーロ圏9ヵ国の国債格下げなどを受け、方向感の乏しい展開になりました。月の後半は、IMFの資本基盤増強報道を受けて欧州債務問題への懸念が和らいだことなどから上昇し、市場別騰落率は、英FT100が前月末比＋1．96%、仏CAC40が同＋4．39%、独DAXは同＋9．50%となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、揉み合いでの推移が続き、新発10年国債利回りは0．965%となりました（前月末は0．98%）。
月の前半は、イタリア大手銀行が増資を発表したことや米格付会社S＆Pによるユーロ圏9ヵ国の国債格下げなどを受け欧州債務問題への懸念が強まり、金利は低下しました。しかしその後、米独の景況感が改善したことや国内株式が堅調に推移したことなどを背景に上昇しました。月末にかけては、FRBが超低金利政策を2014年終盤までは据え置く方針を表明したことなどを受け、再び債券が買われる展開となりました。
日銀は、政策金利を据え置き、年0～0．1%程度を維持しました。
無担保コール（翌日物）は0．1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

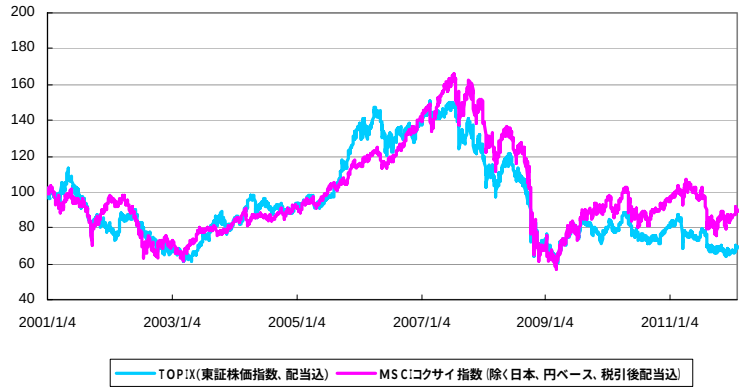
米国債券市場は、月の前半は、堅調な米経済指標などから揉み合う展開となりました。その後、FRBが超低金利政策を少なくとも2014年終盤まで据え置く方針を表明したことや、ギリシャの債務削減協議の難航などから金利は低下し、米10年国債利回りは、月末は1．797%となりました（前月末は1．876%）。
欧州債券市場は、月の前半は揉み合いで推移しましたが、中旬にユーロ圏9ヵ国の国債が格下げされたことから、相対的に安全とされる独国債が買われる展開となり、金利は低下しました。しかしその後、IMFの資本基盤増強報道を受けて過度な不安が後退し、上昇に転じましたが、米国の金融政策の影響やギリシャの債務削減協議の難航などから再び低下し、独10年国債利回りは、月末には1．787%となりました（前月末は1．829%）。
FRBは、FF（フェデラル・ファンド）金利の誘導目標を据え置き、年0．0～0．25%を維持しました。ECB（欧州中央銀行）は政策金利を据え置き、年1．00%としました。

【外国為替市場】

米ドル／円相場は、堅調な米経済指標と欧州債務問題などから揉み合いの推移となりました。しかし下旬には、FRBが超低金利政策の長期化を表明したことなどから米国金利が低下し、日米金利差の縮小などを背景に円高が進行し、円は対ドルで前月末比1円36銭（＋1．75%）円高ドル安の1ドル＝76円38銭となりました。
ユーロ／円相場は、中旬にかけて、ユーロ圏9ヵ国の国債格下げなど欧州債務問題への懸念を背景にユーロが幅広い通貨に対して下落しました。その後、IMFの資本増強報道などから欧州債務不安が和らぎ、ユーロが買い戻される展開となりましたが、ギリシャの債務削減協議の難航などから再度下落して月末を迎え、円は対ユーロで前月末比0円22銭（＋0．22%）円高ユーロ安の1ユーロ＝100円49銭となりました。

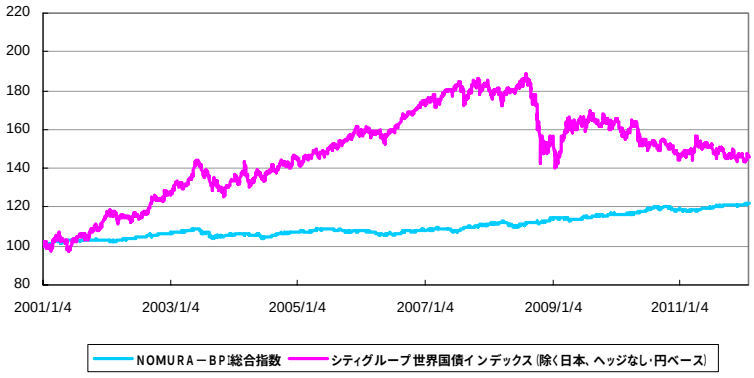
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

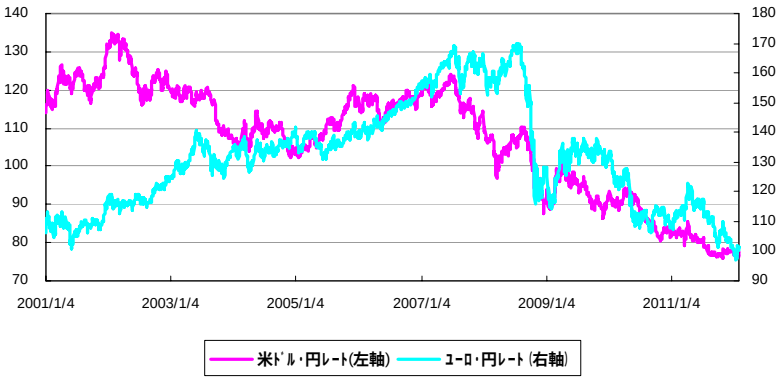


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険
特別勘定の月次運用レポート（2012年1月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 ［ 2012年1月 末日現在 ］

■特別勘定のINDEXの推移

※ 特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

	2012年1月末	2011年12月末	2011年11月末	2011年10月末	2011年9月末	2011年8月末
INDEX	0.845	0.829	0.817	0.844	0.821	0.828
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
騰落率（%）	1.85	0.10	▲ 2.65	▲ 4.29	10.65	▲ 15.51

※ 特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1．00として計算しています。
※ 騰落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目		金額（千円）	比率（%）
現預金・その他		662,055	2.0
その他有価証券		32,043,312	98.0
	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）	3,289,101	10.1
	アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）	4,933,966	15.1
	アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）	4,996,163	15.3
	アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）	3,244,884	9.9
	アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B）	15,579,195	47.6
合計		32,705,367	100.0

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。
資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。（株式部分は、日本株式25%、欧米株式25%の資産配分といたしました。）
今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

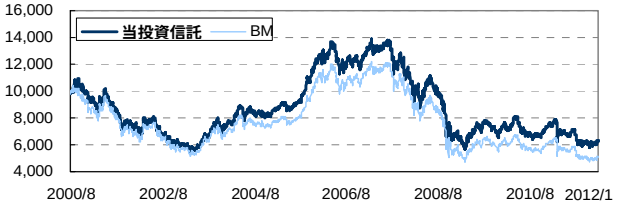
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先： カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険
特別勘定の月次運用レポート（2012年1月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉の運用状況　［ 2012年1月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※　投資信託の設定日（2000年8月3日）の前日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）　（適格機関投資家私募）
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

※　当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券〈適格機関投資家私募〉に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	3.47%	▲0.37%	▲9.55%	▲15.48%	▲3.49%	▲37.46%
BM	3.66%	▲1.15%	▲10.23%	▲17.01%	▲4.88%	▲49.06%
差	▲0.18%	0.78%	0.69%	1.54%	1.39%	11.60%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年8月3日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
　また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）[*1]です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　業種別構成比率

	業種	ﾏｻﾞｰファンド
1	電気機器	11.13%
2	輸送用機器	9.81%
3	銀行業	8.97%
4	卸売業	8.06%
5	情報・通信業	6.29%
6	化学	5.77%
7	小売業	5.07%
8	陸運業	4.65%
9	その他業種	39.11%
10	現金等	1.14%
合計		100.00%

○　市場別構成比率

	市場	ﾏｻﾞｰファンド
1	東京証券取引所第一部	95.12%
2	大阪証券取引所第一部	3.74%
3	現金等	1.14%
合計		100.00%

○　組入上位10銘柄

	銘柄	業種	ﾏｻﾞｰファンド
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.93%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.00%
3	本田技研工業	輸送用機器	2.55%
4	日本電信電話	情報・通信業	1.99%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.98%
6	キヤノン	電気機器	1.84%
7	三菱商事	卸売業	1.56%
8	武田薬品工業	医薬品	1.40%
9	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.27%
10	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	1.26%
合計			20.78%
組入銘柄数			285銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比＋3．47%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数（TOPIX）の騰落率は、前月末比＋3．66%となりました。

当月の日本株式市場は、純資産利回りが高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、下落した石油販売を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した建設を多めに保有していたことや下落した医薬品を少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、上昇した新明和工業（7224）やJVCケンウッド（6632）を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した大阪製鐵（5449）およびオークワ（8217）を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル（定量分析）を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※　将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

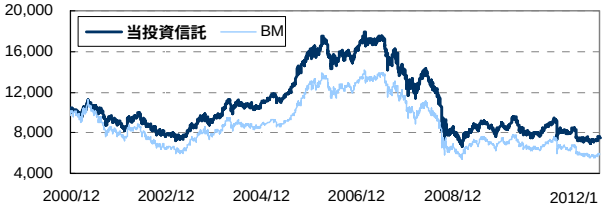
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険
特別勘定の月次運用レポート（2012年1月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）（適格機関投資家私募）の運用状況　［ 2012年1月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※　投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）（適格機関投資家私募）
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

※　当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	3.55%	▲0.19%	▲9.11%	▲14.93%	▲4.67%	▲25.29%
BM	3.66%	▲1.15%	▲10.23%	▲17.01%	▲4.88%	▲41.42%
差	▲0.11%	0.96%	1.12%	2.08%	0.21%	16.13%

※　設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を起点として計算しています。
※　投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
　　また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）[*1]です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　業種別構成比率

	業種	ﾏｻﾞｰファンド
1	銀行業	11.36%
2	卸売業	9.27%
3	輸送用機器	8.29%
4	化学	7.67%
5	情報・通信業	7.55%
6	電気機器	6.91%
7	陸運業	6.82%
8	小売業	6.79%
9	その他業種	34.44%
10	現金等	0.90%
	合計	100.00%

○　市場別構成比率

	市場	ﾏｻﾞｰファンド
1	東京証券取引所第一部	97.95%
2	大阪証券取引所第一部	0.92%
3	東京証券取引所第二部	0.16%
4	大阪証券取引所第二部	0.04%
5	名古屋証券取引所第二部	0.01%
6	ジャスダック証券取引所	0.01%
7	名古屋証券取引所第一部	0.01%
8	現金等	0.90%
	合計	100.00%

○　組入上位10銘柄

	銘柄	業種	ﾏｻﾞｰファンド
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.56%
2	本田技研工業	輸送用機器	3.86%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.67%
4	日本電信電話	情報・通信業	3.39%
5	三菱商事	卸売業	3.37%
6	武田薬品工業	医薬品	2.80%
7	KDDI	情報・通信業	2.50%
8	住友商事	卸売業	2.36%
9	東海旅客鉄道	陸運業	2.33%
10	パナソニック	電気機器	2.24%
	合計		31.09%
	組入銘柄数		148銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比＋3．55%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数（TOPIX）の騰落率は、前月末比＋3．66%となりました。
当月の日本株式市場は、純資産利回りが高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、下落した医薬品や家庭用品を少なめに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した輸送および通信を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、上昇した野村ホールディングス（8604）および本田技研工業（7267）を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落したパナソニック（6752）を多めに保有していたことや上昇した小松製作所（6301）を保有していなかったことはマイナスに寄与しました。
当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル（定量分析）を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※　将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

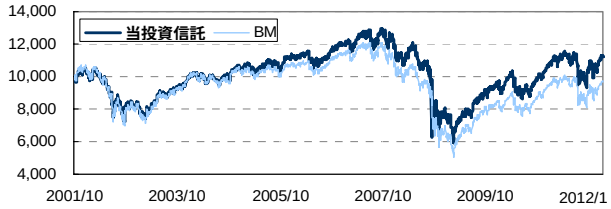
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険
特別勘定の月次運用レポート（2012年1月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉の運用状況　［ 2012年1月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※　投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）　（適格機関投資家私募）
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※　当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・米国株式マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	3.89%	2.16%	1.76%	4.66%	50.91%	12.22%
BM	3.91%	1.98%	0.64%	2.47%	53.67%	▲3.29%
差	▲0.02%	0.18%	1.12%	2.19%	▲2.75%	15.51%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
　また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S&P500種株価指数*2
　（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース）です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　セクター別構成比率

	セクター	マザーファンド
1	エネルギー	12.79%
2	ソフトウェア・サービス	8.61%
3	医薬品バイオテクノ・ライフ	8.06%
4	テクノロジー・ハードウェア	8.01%
5	ヘルスケア機器・サービス	6.45%
6	資本財	5.95%
7	小売	5.71%
8	食品・飲料・タバコ	5.62%
9	その他業種	38.14%
10	現金等	0.66%
合計		100.00%

○　組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	4.63%
2	EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	3.16%
3	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.01%
4	CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	2.78%
5	PFIZER INC	アメリカ	医薬品バイオテクノ・ライフ	2.40%
6	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.89%
7	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL INC	アメリカ	食品・飲料・タバコ	1.88%
8	WAL-MART STORES INC	アメリカ	食品・生活必需品小売	1.67%
9	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.39%
10	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	1.23%
合計				24.04%
組入銘柄数				218銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比＋3．89%となりました。一方、ベンチマークであるS＆P500種株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）の騰落率は、前月末比＋3．91%となりました。
当月の米国株式市場は、純資産利回りが高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、下落した食品を少なめに保有していたことや上昇したコンピューターを多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した飲料・タバコおよび電力を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、下落したタバコのLORILLARDを多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した各種金融のMORGAN STANLEYおよびソフトウェア・サービスのCA INCを多めに保有していたことはプラスに寄与しました。
当投資信託の運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル（定量分析）等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※　将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　　・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

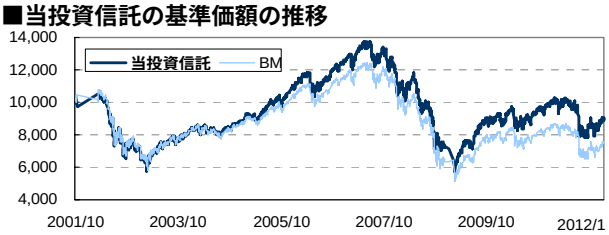
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険
特別勘定の月次運用レポート（2012年1月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）（適格機関投資家私募）の運用状況　［ 2012年1月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※　投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）（適格機関投資家私募）
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※　当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・欧州株式マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	3.35%	▲1.62%	▲6.99%	▲10.64%	25.04%	▲11.10%
BM	3.43%	▲0.95%	▲6.72%	▲12.21%	20.64%	▲25.58%
差	▲0.08%	▲0.67%	▲0.27%	1.56%	4.40%	14.48%

※　設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を起点として計算しています。
※　投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
　　また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※　「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数[*3]（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース）です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　国別構成比率

	国名	マザーファンド
1	イギリス	32.30%
2	フランス	13.74%
3	スイス	13.49%
4	ドイツ	12.08%
5	オランダ	6.88%
6	スウェーデン	5.19%
7	スペイン	3.78%
8	イタリア	2.68%
9	その他の国	8.46%
10	現金等	1.41%
合計		100.00%

○　セクター別構成比率

	セクター	マザーファンド
1	食品・飲料・タバコ	12.09%
2	医薬品・バイオテクノ・ライフ	11.73%
3	エネルギー	11.28%
4	素材	8.47%
5	資本財	7.78%
6	銀行	7.14%
7	電気通信サービス	6.39%
8	保険	6.04%
9	その他業種	27.68%
10	現金等	1.41%
合計		100.00%

○　組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.71%
2	BP PLC	イギリス	エネルギー	2.67%
3	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	2.41%
4	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	イギリス	食品・飲料・タバコ	2.18%
5	SANOFI	フランス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.00%
6	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	1.87%
7	ASTRAZENECA PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.74%
8	VODAFONE GROUP PLC	イギリス	電気通信サービス	1.73%
9	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	オランダ	エネルギー	1.72%
10	ROCHE HOLDING AG-GENUSSS	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.49%
合計				20.53%
組入銘柄数				256銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比＋3．35%となりました。一方、ベンチマークであるMSCI欧州株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）の騰落率は前月末比＋3．43%となりました。当月の欧州株式市場では、株価を1株あたりの利益と比較した時に割安であった銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、上昇した自動車および保険を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、上昇した金属および銀行を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、上昇した自動車のVOLKSWAGEN（ドイツ）および資本財のALSTOM（フランス）を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した医薬品のNOVARTIS（スイス）および小売のTESCO（イギリス）を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル（定量分析）等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※　将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

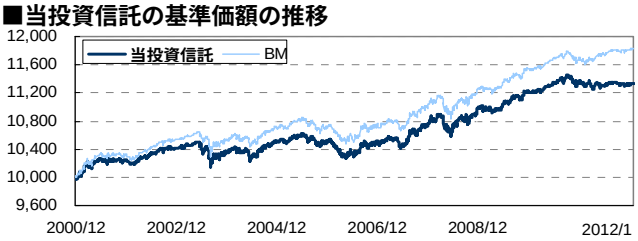
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険
特別勘定の月次運用レポート（2012年1月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉の運用状況　［ 2012年1月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を10,000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B）（適格機関投資家私募）
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.13%	0.16%	0.11%	▲0.10%	3.28%	13.38%
BM	0.15%	0.45%	0.47%	1.33%	5.22%	18.34%
差	▲0.02%	▲0.29%	▲0.37%	▲1.43%	▲1.94%	▲4.96%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
　また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日興債券パフォーマンス・インデックス（総合*4、中期3年以上7年未満）です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ 資産構成

	修正デュレーション	ﾏｻﾞｰファンド
公社債	4.20 年	98.76%
国債	4.42 年	69.97%
地方債	0.00 年	0.00%
特殊債・財投債	3.31 年	6.82%
金融債	2.78 年	1.11%
社債等	3.83 年	20.87%
その他	0.00 年	0.00%
短期資産等*	0.00 年	1.24%
合計	4.15 年	100.00%

＊ 債券先物を含みます。

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○ 公社債の格付別構成比率

格付区分	ﾏｻﾞｰファンド
AAA	0.00%
AA	85.73%
A	14.27%
BBB	0.00%
BB以下（無格付含）	0.00%
合計	100.00%

格付基準：
※ 海外格付機関の格付を優先します。
※ 海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付けを採用します。

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付 ムーディーズ	格付 S&P	ﾏｻﾞｰファンド
1	第277回利付国債（10年）	日本	1.600%	2016年3月20日	Aa3	AA-	8.03%
2	第269回利付国債（10年）	日本	1.300%	2015年3月20日	Aa3	AA-	5.35%
3	第93回利付国債（5年）	日本	0.500%	2015年12月20日	Aa3	AA-	4.39%
4	第257回利付国債（10年）	日本	1.300%	2013年12月20日	Aa3	AA-	4.17%
5	第272回利付国債（10年）	日本	1.400%	2015年9月20日	Aa3	AA-	3.69%
6	第273回利付国債（10年）	日本	1.500%	2015年9月20日	Aa3	AA-	3.58%
7	第288回利付国債（10年）	日本	1.700%	2017年9月20日	Aa3	AA-	3.50%
8	第312回利付国債（10年）	日本	1.200%	2020年12月20日	Aa3	AA-	3.37%
9	第259回利付国債（10年）	日本	1.500%	2014年3月20日	Aa3	AA-	3.36%
10	第4回　日本政策投資銀行	日本	1.158%	2014年6月20日	Aa3	A+	3.33%
合計							42.78%
組入銘柄数							45銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

○ ポートフォリオの状況

	ﾏｻﾞｰファンド
平均複利利回り	0.56%
平均クーポン	1.30%
平均残存期間	4.29

※ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比＋0.13%、一方、ベンチマークである日興債券パフォーマンス・インデックス（総合、中期3年以上7年未満）は前月末比＋0.15%となりました。1月の日本経済指標はいくつかの回復の兆しがみられました。中小企業景況判断指数（商工中金）は0.1上昇の45.7と僅かながら企業の経営者心理が回復にあることを示しています。12月の鉱工業生産は前月比4.0%、12月の小売業販売額は前年同月比2.5%、また、11月の機械受注は前月比14.8%とそれぞれ大きく上昇しました。世界の経済指標は概ね世界的に良好であったことを背景に株式などのリスク資産は上昇しました。債券市場では当月の10年国債利回りは0.015%低下の0.965%となりました。当月の投資信託は主として流入資金により長期国債を買い増しました。市場予想では、2012年の世界経済成長は、先進国経済の成長予想が過去平均に比べ低いことやインフレ予想が2011年より低いとみられることから、依然として悲観的です。しかし、委託会社では、各国で金融緩和策がとられ、その影響により、一部地域では成長がみられると予想しています。また、日本は企業在庫積み増しと震災復興事業などから経済が再加速するとみられていることから、委託会社は今後の債券市場では、欧米の不安定な情勢を背景に、今後の10年物国債利回りは1%前後で推移するとみています。今後の当投資信託の方針として、デュレーションについては引き続き現在のポジションを維持するとともに、利益確定の機会を見計らい、ベンチマーク比で多めとしているサムライ債の保有比率を減らす予定です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険

用語説明

＊1「東証株価指数（TOPIX）」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。
東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（以下㈱東京証券取引所）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は㈱東京証券取引所が有しています。
㈱東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

＊2「S＆P500種株価指数」とは、スタンダード＆プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利は
スタンダード＆プアーズ社に帰属しています。S＆P500種株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）は、S＆P500種株価指数（米ドルベース）に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。

＊3「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc.の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。
また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）は、MSCI欧州株価指数（ユーロベース）に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。

＊4「日興債券パフォーマンス・インデックス（総合）」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、
金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。
同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はSMBC日興証券株式会社に帰属します。また、SMBC日興証券株式会社は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

注意事項

○変額保険の仕組み
変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。
*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

○変額保険のリスクについて
①市場リスク
特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額（有期型の場合、満期保険金を含む）や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。
なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク
万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

契約月別の運用実績の例

（一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合。但し、有期型の場合は、保険期間10年）

契約日	終身型		有期型		契約月別運用実績（%）	年複利（%）
	保険金額（万円）	変動保険金額（万円）	保険金額（万円）	変動保険金額（万円）		
平成12年　8月　1日	1,000	-549	-	-	-15.51	-1.46
平成12年　9月　1日	1,000	-555	-	-	-16.76	-1.59
平成12年　10月　1日	1,000	-537	-	-	-14.39	-1.36
平成12年　11月　1日	1,000	-521	-	-	-12.45	-1.17
平成12年　12月　1日	1,000	-504	-	-	-10.21	-0.96
平成13年　1月　1日	1,000	-488	-	-	-8.23	-0.77
平成13年　2月　1日	1,000	-497	-	-	-9.91	-0.94
平成13年　3月　1日	1,000	-469	-	-	-6.06	-0.57
平成13年　4月　1日	1,000	-452	-	-	-3.95	-0.37
平成13年　5月　1日	1,000	-471	-	-	-7.01	-0.67
平成13年　6月　1日	1,000	-464	-	-	-6.44	-0.62
平成13年　7月　1日	1,000	-453	-	-	-5.14	-0.50
平成13年　8月　1日	1,000	-431	-	-	-2.34	-0.23
平成13年　9月　1日	1,000	-400	-	-	1.85	0.18
平成13年　10月　1日	1,000	-361	-	-	7.06	0.66
平成13年　11月　1日	1,000	-373	-	-	4.86	0.46
平成13年　12月　1日	1,000	-377	-	-	3.89	0.38
平成14年　1月　1日	1,000	-377	-	-	3.57	0.35
平成14年　2月　1日	1,000	-355	1,000	-300	6.40	0.62
平成14年　3月　1日	1,000	-360	1,000	-305	5.21	0.51
平成14年　4月　1日	1,000	-371	1,000	-316	3.30	0.33
平成14年　5月　1日	1,000	-365	1,000	-310	3.75	0.38
平成14年　6月　1日	1,000	-367	1,000	-312	3.15	0.32
平成14年　7月　1日	1,000	-336	1,000	-282	7.14	0.72
平成14年　8月　1日	1,000	-307	1,000	-253	10.87	1.09
平成14年　9月　1日	1,000	-305	1,000	-251	10.86	1.10
平成14年　10月　1日	1,000	-280	1,000	-226	14.01	1.42
平成14年　11月　1日	1,000	-278			14.00	1.43
平成14年　12月　1日	1,000	-288			12.02	1.25
平成15年　1月　1日	1,000	-265			14.96	1.55
平成15年　2月　1日	1,000	-244			17.71	1.83
平成15年　3月　1日	1,000	-238			18.17	1.89

契約日	終身型		有期型		契約月別運用実績(%)	年複利(%)
	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)		
平成15年 4月 1日	1,000	-234			18.31	1.92
平成15年 5月 1日	1,000	-246			15.90	1.70
平成15年 6月 1日	1,000	-257			13.91	1.51
平成15年 7月 1日	1,000	-271			11.51	1.28
平成15年 8月 1日	1,000	-278			10.10	1.14
平成15年 9月 1日	1,000	-284			8.88	1.02
平成15年 10月 1日	1,000	-284			8.39	0.97
平成15年 11月 1日	1,000	-292			6.91	0.81
平成15年 12月 1日	1,000	-288			7.08	0.84
平成16年 1月 1日	1,000	-295			5.63	0.68
平成16年 2月 1日	1,000	-303			4.13	0.51
平成16年 3月 1日	1,000	-311			2.66	0.33
平成16年 4月 1日	1,000	-320			1.01	0.13
平成16年 5月 1日	1,000	-318			0.97	0.13
平成16年 6月 1日	1,000	-309			1.85	0.24
平成16年 7月 1日	1,000	-316			0.48	0.06
平成16年 8月 1日	1,000	-301			2.11	0.28
平成16年 9月 1日	1,000	-300			1.91	0.26
平成16年 10月 1日	1,000	-299			1.75	0.24
平成16年 11月 1日	1,000	-294			1.97	0.27
平成16年 12月 1日	1,000	-301			0.63	0.09
平成17年 1月 1日	1,000	-311			-1.05	-0.15
平成17年 2月 1日	1,000	-309			-1.16	-0.17
平成17年 3月 1日	1,000	-318			-2.71	-0.40

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

(2) 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成24年1月末までの運用実績を示したものです。
なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。

(3) 年複利は契約月別運用実績を年複利換算したものです。

(4) 終身型は、平成17年3月31日で販売終了しています。

(5) 有期型は平成14年10月31日で販売終了しています。